

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(1)政策	コード	名称
	22	(3)雇用の場が充実しているまちづくり

(5)評価責任者職名	産業振興部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	半田 泰士
------------	-------

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	46	若者も含め、地元で働きたくするような職場がある。
	46	①地元で魅力的な雇用の場をつくる			

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標) 指標の数値	1次評価結果										
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
																(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		

2次評価										(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度区 分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて			

継続	367	シルバー人材センター運営費等 経費	160500	産業振興部商 工観光課	15,550	13,600	13,600	0.4	2,880	人材センター に対する仕事 の受託件数	6278	6450	件	I	4	3	4	3	A	現状維持
継続	372-1	産学官民連携事業	160500	産業振興部商 工観光課	300	797	797	0.5	3,600	フォーラム・交 流会参加者数	236	251	人	I	4	3	4	4	A	拡大
21新規	368-1	事業者情報発信システム構築 事業	160500	産業振興部商 工観光課	0	0	1,000	0.3	2,160	システム登録 事業者数		200		I	4	4		3	A	
継続	368-2	合同就職セミナー事業	160500	産業振興部商 工観光課	430	380	380	0.2	1,440	就職セミナー 参加企業	100	90	社	I	4	3	3	3	A	現状維持

無	—	—	無	—	2G	b	—	人口減少社会での高 齢者就労支援の中核 機関であり、年々会員 が増加するため国の 法支援基準に相応し た市の支援体制を確 立する必要あり。
無	—	—	無	—	3G	c	—	
有	方向性を拡大と し、指標成果目標 値 200事業所 ⇒初年度新規登録 200事業所とする	現状の事業所デー タース(3337社)に 加え年次的に伊賀 市商工会管内デー タを整備する。	有	商工会・商工会議所会 員以外の事業所に係 るデータベース構築は、行 政負担すべきであり、商 工団体との負担協議を 必用とする。	1G	a	—	現状の事業所デー タース(3337社)は、 旧上野市管内事業所 に限定されているた め、伊賀市商工会管 内の事業所デー タース(約1200事業
無	—	—	無	—	4G	d	—	社会問題化している就 労困難者対策として取 組む必要がある事業 であるが、関係機関と の連携による対応を進 める